

まちかど写真館 in ひの

平成 20(2008)年 5 月 3 日～9 月 15 日

このイベントは、日野宿発見隊が平成 20(2008)年 5 月 3 日から、当初予定の 6 月末までの会期を大幅に延長し、八坂神社のお祭りの 9 月 15 日まで開催したものです。集められた約 50 年前の写真を当時の撮影地点と同じ場所に展示して、その移り変わりを見比べてもらうという趣向でした。日野駅から甲州街道沿いに約 600 メートル、川崎街道入口までの街道沿いの商店や家々の軒下に全部で 33 点展示しました。雨に濡れても大丈夫のように金属性のパネルに防水プリントを貼り、まちかどに出したのです。昭和の町並みをゆっくり散策しながら、多くの人に見てもらうことができました。

巻末のチラシは期間中配布したものです。表面は戸高要さん撮影の昭和 37(1962)年頃の日野用水付近の写真で、裏面は今尾恵介さん制作の日野宿の絵地図です。なお、表紙はポスターとして展示し、また裏表紙の絵地図は拡大パネル化し日野駅前に高さ 2 メートルの日野宿案内板として掲示しました。期間中はたくさんの方がこのちらしを片手にまちを散策する光景に出会うこととなりました。



□日野駅前に建てた日野宿案内



□オープニング・セレモニーで、パネルを展示する写真提供者の馬場収さんと平出日野駅長（当時）

また、6 月 7 日には展示した写真の見学ツアーを開催しました。当日は北原在住の松本保さんや横町在住の安西清さんに案内していただきました。このときの様子を記録した『まちかど写真館 in ひのツアー』を刊行しておりますので、『写真集まちかど写真館 in ひの』とあわせてご覧いただくと、当時の様子を知るうえでよりいっそうお役に立つのではないかと思います。

さて、このイベントにとって忘れられないのは、テレビ朝日の「ちい散歩」の取材です。日野駅前に建てた日野宿案内の看板がたまたま日野を訪れた担当ディレクターの目にとまり、思いがけない展開となりました。日野図書館を訪れた案内人の地井武男氏が番組のなかで私たちの企画を絶賛してくれたのです。お陰で市外からも多くの観光客が訪ねてくるなど、テレビの影響力の大きさに今更ながら驚かされるとともに、私たちの取り組みがまちの活性化につながる大きな一歩となったとの自信も得られました。



□図書館を訪れた地井さんを囲んで

うれしいことにこの企画から、日野一小児童への写真や映像をもとにした講演やまち歩き会、八坂神社の祭りの際の「八坂の祭り、日野の祭り半纏、ポスター展」(第13弾)、みずほ銀行日野駅前支店での「まちかど写真館 in ひの総集編」の開催、さらに『写真集まちかど写真館 in ひの』の刊行。そして年が改まった1月には市長の年頭スピーチの後に、理事者や職員を前にして、日野宿発見隊の活動を報告するプレゼンテーションを行いました。私たち日野宿発見隊の活動が市内でも認められ大きく飛躍した1年となりました。



□みずほ銀行日野駅前支店
で開かれた総集編



写真集まちかど写真館 in ひの

平成 21(2009)年 3 月日野宿発見隊待望の写真集ができあがりました。市内外の方々から提供いただいた半世紀前の写真のなかから、「まちかど写真館 in ひの」としてまちなかに展示した 33 点のほか、懐かしの写真として新たに 20 点を加え、フルカラー版で 1000 部刊行しました。当時を語る写真提供者からのメッセージや日野宿発見隊のこれまでの活動報告を記録する内容の濃い写真集となったと思います。広報や新聞で刊行を知った方々からの反響も大きく、時代を記録する資料として後世に伝える貴重な 1 冊となったのではないのでしょうか。

なお、写真集刊行も含めて「まちかど写真館 in ひの」の事業に対して、地域活性化センターより補助金を、また、みずほ銀行日野駅前支店より賛助金をいただきました。



2009年(平成21年)3月9日(月曜日) 多摩 地域の情報 18

0-012 立川市曙町1-13-11 立川クレストビル1階 FAX.042-524-0063 Eメール:tama@tokyo-np.co.jp

03-6910-2260 FAX.03-695-6917 Eメール:shakai@tokyo-np.co.jp

0120-026-999 03-6910-2265 042-522-6253

高学自給せ! 新学期生募集 第一志望合格主義! めんどくさい100%専任講師!!! ING進学教室 TEL0120-15-7766 www.ing-school.co.jp

多摩

見比べよう 過去と現在

日野市の町おこしグループ、日野宿発見隊は、1920～50年代の市内の街角と現在の風景などをとらえた写真集を刊行した。メンバーが市内を訪ね歩いて写真を集めた労作で、グループ発起人の市立日野図書館分館長の渡辺生子さん(57)は「活動を通して多くの交流が生まれた。写真集は活動の集大成」と喜んでいる。(西川正志)

当時懐かしむ声も掲載

写真集には、これまでに収集された八百枚の写真から三十三点を厳選し、同じ撮影場所の現在の写真とともに掲載している。写真を提供してくれた市民らのコメントも載せており、当時の街の様子を懐かしむ市民の声が続いている。同グループは、二〇〇六年に渡辺さんの呼び掛けで発足。一冊通の生活の歴史を知りたいと市民らが所有する古い写真の収集を思いついたという。メンバーは休日などを活用して、各家庭を訪ね歩き、写真を譲ってもらうように交渉を続けた。少しずつ活動が知られるようになり、協力してくれる人も増えていった。

昨年八月には、地元商店街と同日野本町の大仏寺の協力を得て、ベゴメなまの遊びを体験できる夏祭りを開催し、小学生五百人で行きわたった。また、街角での写真集には千歳や神奈川県など関東一円から問い合わせが来たり、茨城県の商店会からは「自分たちが作った写真集とぜひ交換してほしい」という依頼もあった。

今後は、活動を通じて見つけた六軒の屋敷の看板作りにも挑戦する。渡辺さんは「地元だけでなく、ほかの地域との交流も広がった」と話している。

写真集はA4判、六十六ページ、問い合わせは、市日野図書館分館 TEL042-522-6253(042)678-0426へ。

口東京新聞 2009年3月9日付

日野宿ふれあいこども横丁 パート 1

平成 20(2008)年 8 月 30 日 9 時 30 分～12 時 大昌寺駐車場、大昌寺

発見隊のメンバーでもある日野一小の小杉校長先生の提案を受け、紙飛行機や水鉄砲作り、ベーゴマ遊びなど昔遊びを楽しむ「こども横丁」を再現しました。また大昌寺の「時の鐘」の実演もありました。このイベント開催にあたっては大昌寺の全面協力をいただいたのはもちろんのこと、一小 PTA、一小ひのっち、日野囃子保存会、弥生会、新町青葉クラブ子遊会、郷土資料館、子育て課、中央公民館など、多くの方々の協力をいただきました。



□ 一小ひのっちみこし



□ 郷土資料館ボランティアによる水鉄砲作り



□ 「駄菓子屋児童館としちゃんち」の出店



□ ご住職のお話し



□ 「時の鐘」の再現

日野宿ふれあいこども横丁 パート2

日野宿交流館 1階 午後4時～5時

日野中央公民館の協力でうちわや灯籠作りに挑戦しました。できた灯籠は夕方からの夏祭り向けに、日野宿交流館3階へ上る階段に飾られ、祭り参加者を楽しませてくれました。



日野宿夏祭り（夕涼み会）

日野宿交流館 3階会議室 午後5時30分～8時

ふれあい商店会との共催で開かれた2度目の夏祭りでした。あいにくの雨模様のため日野宿交流館3階での開催となりましたが、半世紀前の日野を撮った貴重な8ミリ映像(DVD)に食い入るように見入る年配の方々や、楽しそうに盆踊りを踊る女性陣がひとときわ印象的でした。もちろんこの日食べた御馳走はこどもたちにとっていつまでも記憶に残ることでしょう。



□夕立にもめげず盛大に開かれた夏祭り
発見隊の若手女性2人も盆踊りに奮戦！



□見つめる視線の向こうには
遠い昔の懐かしい日野の風景が…

八坂の祭り、日野の祭り半纏、祭りポスター展

平成 20 (2008) 年 9 月 1 日～15 日 八坂神社の玉垣及び志村家

八坂の祭りが間近に迫る 9 月 1 日から、古くは明治から現代に至る祭りの写真を 25 点、拡大パネル化し八坂神社の玉垣に展示するとともに、同時に森町の志村磨智子家で「八坂の祭り、日野の祭り半纏、祭りポスター展」を開催しました。開催にあたっては八坂神社ならびに、志村家、木村家、八坂みこし愛好会、加組祭り愛好会、日野みこし連合協議会のほか、橋本栄萬さん、歴代の祭りポスターをお貸しいただいた泉沢章介さん、品川明雄さん、中村喜久夫さんなど祭り関係者の全面的な協力をいただきました。

また、9 月 14 日には、佐藤信行さんのご厚意により、明治 13(1880)年宮神輿が奉納されたときの戸長佐藤家信民、郡長佐藤俊正 (彦五郎)、両氏の各祝詞の原本が八坂神社の本殿にて初公開されました。

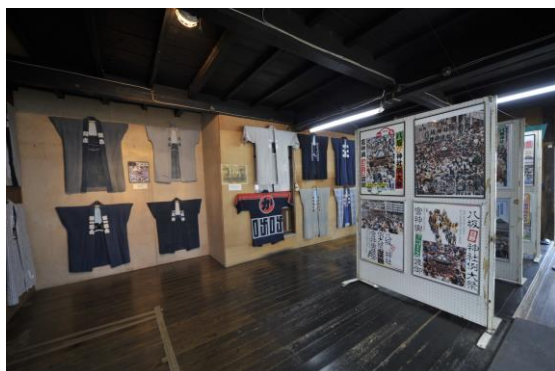
一方、日野宿交流館 1 階でも、こどもたちの祭りの写真やプリンとした日野の各祭り半纏の写真と同時に展示しました。祭り好きの日野っ子にとってはたまらない展示となったようです。



□昔のポスターにご主人春雄さんの姿を発見して喜ぶ谷スエさん



□「この（展示中の）写真に写っている子は私よ」と高久美子さん



□八坂の祭り、日野の祭り半纏、ポスター展



□ライトアップされて一段と映える会場



□展示された半纏やポスターを見ながら歓談する八坂神社の土淵宮司と志村磨智子さん



□万灯も飾られて祭り一色の志村家



□八坂神社の玉垣に展示された明治から現代に至る祭りの写真パネル



□玉垣前はいつきのギャラリーとなり、昔話に花が咲いたようです

まち歩き会「日野駅周辺の歴史をたどる」

平成 20(2008)年 11 月 29 日 9 時 30 分～12 時 参加者 38 名

天候にも恵まれ、紅葉したイチョウやカエデを愛でながらのまち歩きとなりました。まず昭和 12(1937)年に現在の位置に新設されて現在に至る日野駅舎を、続いて駅北側の線路下を流れる日野用水を見学した後、建ってから 120 年以上も経つ志村家（屋号「大屋」森町）の家屋を、さらにかつて立派な麦わら屋根の家並みが続いたという旧甲州街道横町付近を、また宝泉寺では閻魔堂やもちあげ観音を、そして坂下地蔵堂ではお堂に特別にあがらせていただきいわゆる西のお地蔵様を見学させていただきました。この後矢の山公園に上り、昭和天皇が摂政時代陸軍の大演習を総監したという地点（御野立場）に立つと、木々の間から現在の日野のまちを望むことができましたが、かつて宿の周りに豊かな稲田が広がっていたことなどまったく想像できませんでした。最後に新選組のふるさと歴史館で開催中の特別展「ほどくぼ小僧勝五郎生まれ変わり物語」を見学した後現地で散会しました。

このまち歩き会では、実践女子大の高田典夫教授、谷享司さん、日野駅長さん、志村磨智子さん、木村邦生さん、宝泉寺住職、河野喜映（よしてる）さん、加地勝さん、北村澄江さんにそれぞれ解説していただきました。



□日野駅前の日野宿
案内板前で記念撮影



□坂下地蔵堂（西の地蔵）



□地蔵堂内